

(2004/07/15)

増設メモリ

増設メモリ

1. 機能仕様

型名	N8102-208	N8102-209	N8102-201
容量	256MB (256MBx1 枚)	512MB (512MBx1 枚)	1GB (1GBx1 枚)
仕様	DDR266(PC2100) SDRAM-DIMM, Unbuffered, ECC		
動作クロック	133MHz		
駆動電圧	2.5V		
バッファ	無		

型名	N8102-175	N8102-176
容量	256MB (256MBx1 枚)	512MB (512MBx1 枚)
仕様	DDR266(PC2100) SDRAM-DIMM, Unbuffered, ECC	
動作クロック	133MHz	
駆動電圧	2.5V	
バッファ	無	

N8102-176 搭載時はスロット#1 から順に搭載すること。N8102-176 は最大 2 枚まで搭載可。

型名	N8102-186	N8102-187	N8102-188
容量	256MB (256MBx1 枚)	512MB (512MBx1 枚)	1GB (1GBx1 枚)
仕様	DDR333(PC2700) SDRAM-DIMM, Unbuffered, ECC		
動作クロック	166MHz		
駆動電圧	2.5V		
バッファ	無		

型名	N8102-171	N8102-172	N8102-173
容量	256MB (256MBx1 枚)	512MB (512MBx1 枚)	1GB (1GBx1 枚)
仕様	DDR266(PC2100) SDRAM-DIMM Registered, ECC		
動作クロック	133MHz		
駆動電圧	2.5V		
バッファ	有		

型名	N8102-159	N8102-160	N8102-161	N8102-177	N8102-179	N8102-178
容量	512MB (256MBx2 枚)	1GB (512MBx2 枚)	2GB (1GBx2 枚)	2GB (1GBx2 枚)	4GB (2GBx2 枚)	4GB (2GBx2 枚)
仕様	DDR266(PC2100) SDRAM-DIMM,Registered, ECC					
動作クロック	133MHz					
駆動電圧	2.5V					
バッファ	有					

型名	N8102-125	N8102-126	N8102-127	N8102-180
容量	1GB (256MBx4 枚)	2GB (512MBx4 枚)	4GB (1GBx4 枚)	8GB (2GBx4 枚)
仕様	DDR200(PC1600) SDRAM-DIMM,Registered, ECC			
動作クロック	100MHz			
駆動電圧	2.5V			
バッファ	有			

型名	N8102-167	N8102-168	N8102-169
容量	256MB (256MBx1 枚)	512MB (512MBx1 枚)	1GB (1GBx1 枚)
仕様	PC133 SDRAM-DIMM, Unbuffered, Low Profile, ECC		
動作クロック	133MHz		
駆動電圧	3.3V		
バッファ	無		

型名	N8102-163	N8102-164	N8102-165
容量	512MB (256MBx2 枚)	1GB (512MBx2 枚)	2GB (1GBx2 枚)
仕様	DDR266(PC2100) SDRAM-DIMM, Registered,LowProfile, ECC		
動作クロック	133MHz		
駆動電圧	2.5V		
バッファ	有		

型名	N8102-183	N8102-184	N8102-185
容量	1GB (512MBx2 枚)	2GB (1GBx2 枚)	4GB (2GBx2 枚)
仕様	DDR266 SDRAM-DIMM,Registered		
動作クロック	133MHz		
駆動電圧	2.5V		
バッファ	有		

2. 用語集

■SDRAM(Synchronous Dynamic Random Access Memory)

従来のDRAMと比べて内部は基本的に同じであるが、外部バスインターフェイスが一定周期のクロック信号に同期して動作するように改良されたDRAM。

Pentium,Pentium II, Pentium III, Pentium III Xeon,Pentium 4,XeonなどのCPUも、その外部バスはクロックに同期して動くため、CPUとSDRAMのクロックを共通にすればアクセス時のロスを少なくできる。

SDRAMで高速化できるのは、1クロック毎にデータを転送するバーストモードである。従来のDRAMを利用する場合、Pentium,Pentium II ,Pentium III, Pentium III Xeon,Pentium 4,Xeonではバーストモード時にウェイトを挿入しなければならない事が多いが、シンクロナスDRAMを用いればノーウェイトでCPUのバーストモードに追従できる。ただし、バーストモードの最初のアクセスは速くならない。

■DDR SDRAM(Double Data Rate Synchronous Dynamic Random Access Memory)

SDRAMを改良して、外部クロックの2倍の周期でデータをやり取りできるようにしたSDRAM。

SDRAMがクロックの立ち上がりのみを利用するのに対し、立ち上がりと立ち下がり両方を利用し、同じクロックで2倍のデータ転送を実現する。

3. 注意事項

- Express5800 シリーズ用に販売されている他社製メモリは動作保証の範囲外となるため、Express5800 純正品のメモリを使用すること。